

上信越自動車道 ※^{やしろ}(仮称)屋代スマートインターチェンジ建設事業
及び関連事業説明会

令和6年8月

千曲市



※ スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

今回の説明会でお伝えしたいこと (目 次)

- 1. スマートインターチェンジとは 2
- 2. (仮称)屋代スマートスマートインターチェンジの概要 3
- 3. NEXCO東日本と千曲市の役割 4
- 4. 現在の進捗状況 8
- 5. 今後の予定 9

1. スマートインターチェンジとは

スマートインターチェンジとは・・・

- ・高速道路の本線やサービスエリア・パーキングエリアから乗り降り可能なインターチェンジ
- ・通行可能車両をETC搭載車に限定することで、料金所を簡易なものにすることができることから通常のインターチェンジと比較し低コストで導入が可能

【本線直結型】

新磐田スマートインターチェンジ



出典：磐田市HP

【SA・PA接続型】

座光寺スマートインターチェンジ



出典：長野県HP

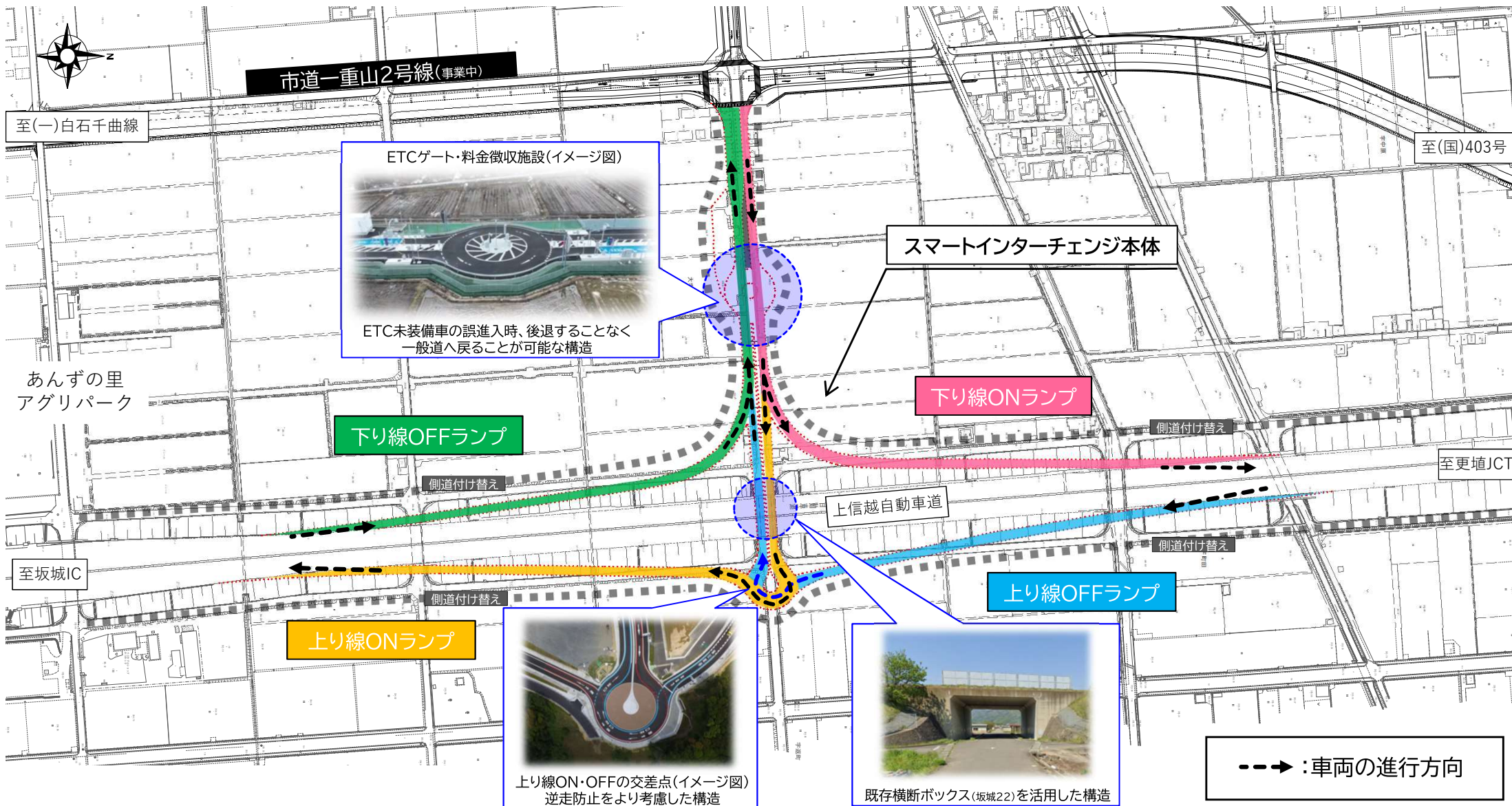
2. (仮称)屋代スマートスマートインターチェンジの概要

- ・スマートインターチェンジ形式: 本線直結型 ・開放時間: 24時間
- ・開放方向: フル方向(上り線・下り線) ・車種限定: ETCを搭載した全車種

語句の説明

ランプ: 高速道路と一般道を相互を連結する道

上り線: 東京方面 下り線: 上越方面(松本方面)



※当該スマートICのランプ構造を簡易的に図示したものであり、決定したものではありません。また、ランプ本体に必要な構造物・のり面等表示は省略しています。
※詳細形状等は現在実施中の設計業務進捗に応じ、順次お示ししてまいります。

3. NEXCO東日本と千曲市の役割

- ・当該スマートICは、令和5年9月に国から高速道路と市道との連結許可がなされ、新規事業化が決定。
- ・事業の推進にあたっては、NEXCO東日本と千曲市が協定を締結し、それぞれの役割を遂行しながら当該スマートIC(※)の建設を進めてまいります。

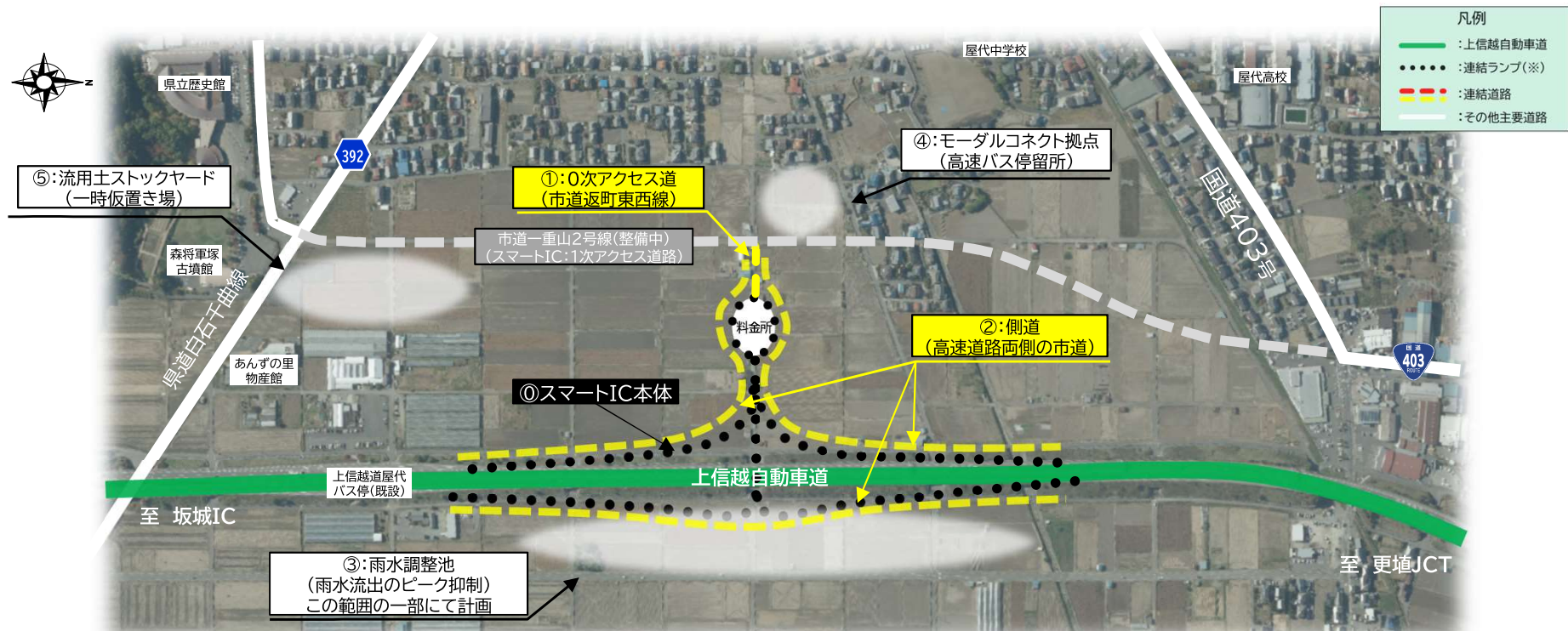
【NEXCO東日本の役割】 工事及び工事に係る調査、測量・設計等

【千曲市の役割】 建設に必要となる土地取得に係る事務、埋蔵文化財発掘調査、関係機関や地元の皆さんとの調整等



(※)スマートIC本体の他、①0次アクセス道、②側道、③雨水調整池、④モーダルコネクト拠点、⑤流用土ストックヤードを含む。ただし、④・⑤は市の単独事業

(仮称)屋代スマートインターチェンジ関連事業イメージ図

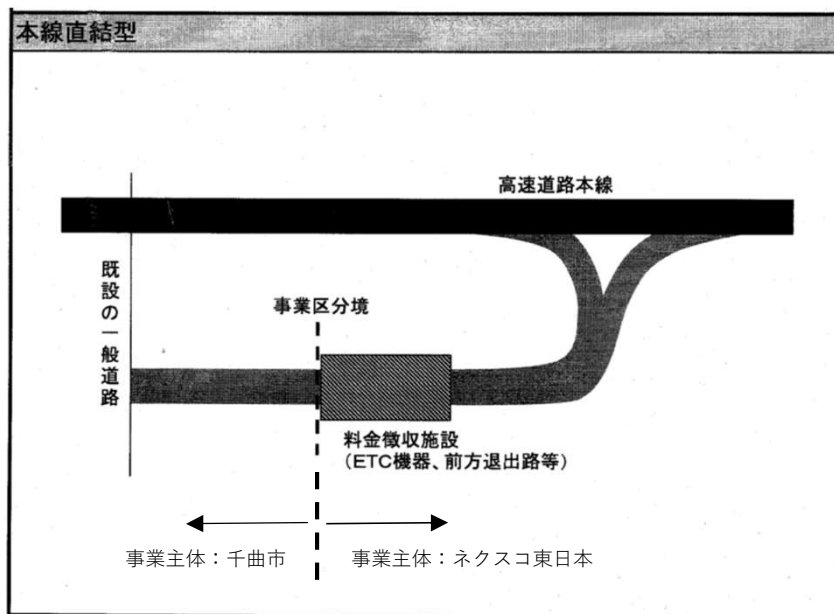


各事業の位置・形状については、今後詳細設計を実施し確定するものであり、現時点でエリアを含め決定しているものではありません。

①：0次アクセス道路 (市道返町東西線)

概要

- ・区間：スマートIC料金徴収施設～市道一重山2号線間
- ・スマートICの事業区分(下記図参照)に従い、料金徴収施設から接続道路までの間は、地元自治体が整備するとされている。
- ・今後、スマートIC本体と合わせ詳細な測量設計を実施し、路線位置を決定する。



図：事業区分の例

↑【参考】スマートIC実施要綱の運用より

②：側道 (高速道路両側の市道)

概要

- ・区間：スマートIC整備により影響する区間
- ・スマートIC整備(ランプ部の新設等)により影響する側道機能の復旧を行う。
- ・今後、スマートIC本体と合わせ詳細な測量設計を実施し、路線位置を決定する。
- ・道路幅員は、普通車がすれ違えるように車道4メートル、両側に路肩0.5メートル、合計5メートルを原則として整備します。



↑【参考】側道機能の復旧(イメージ)

③:雨水調整池 (雨水流出のピーク抑制)

概要

- ・スマートIC整備等により新たに増加する雨水の流出ピークを抑制し、下流域への影響を抑える。
- ・今後、スマートIC本体と合わせ詳細な測量設計を実施し、設置位置を決定する。



↑【参考】雨宮産業団地における雨水調整池

⑤:流用土ストックヤード (一時仮置き場)

令和6年2月15日 該当土地所有者へ説明済

概要

- ・スマートIC整備には既存本線に新たなランプを新設することから、そのための大量の盛土材が必要となる。
- ・現在、国では千曲川緊急治水対策プロジェクトの円滑な進捗に向け、河道掘削土の受け入れ先を千曲市を含めた流域市町村に要請している。
- ・今後、流用土・市内公共残土受け入れに向け、地区内にて測量・設計を実施し、必要土量・置き場場所を決定する。



24:中野市 立ヶ花地区 (千曲川)

↑【参考】河道掘削工により河積が広がった
中野市立ヶ花地区 (プロジェクト実績)



↑【参考】八幡東産業団地における
掘削土受入状況

④: モーダルコネクト拠点 (高速バスの停留所)

令和6年2月15日 該当土地所有者へ説明済

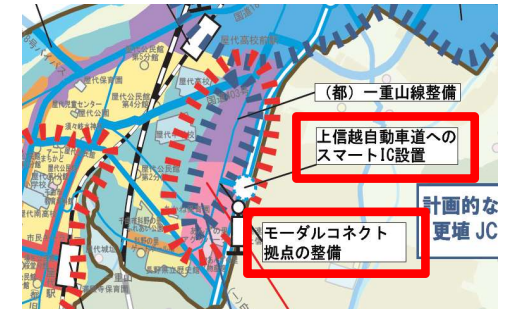
概要

・スマートICの位置について、既存高速バス停(上信越道屋代バス停)との車線の干渉(加速・減速車線)により、供用後現位置でのバス停機能の継続が困難。

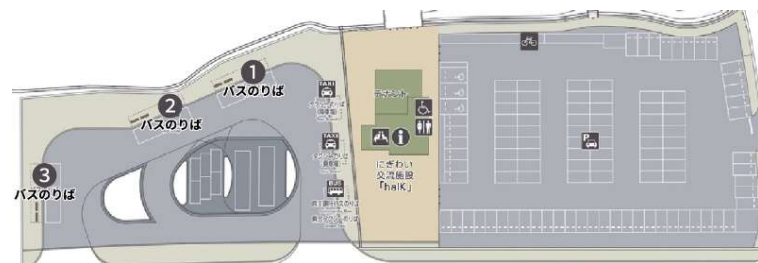
・スマートICの新たな交通結節機能を活用するとともに、高速バス利用者の更なる利便性を図るため、市都市計画マスタープランに基づき、他の交通手段との乗り換えが可能なモーダルコネクトやパーク&ライド可能な施設、利用者用駐車場や待合所等の機能を備えたバス停留所施設がスマートIC出口近傍にて新たに必要。

・今後、現在同バス停に乗り入れている事業者との協議を重ねながら測量・設計を実施し、設置位置・大きさを決定する。

千曲市都市計画マスタープラン(H31.3策定)においてスマートICと合わせた周辺へのバス停整備を位置づけている



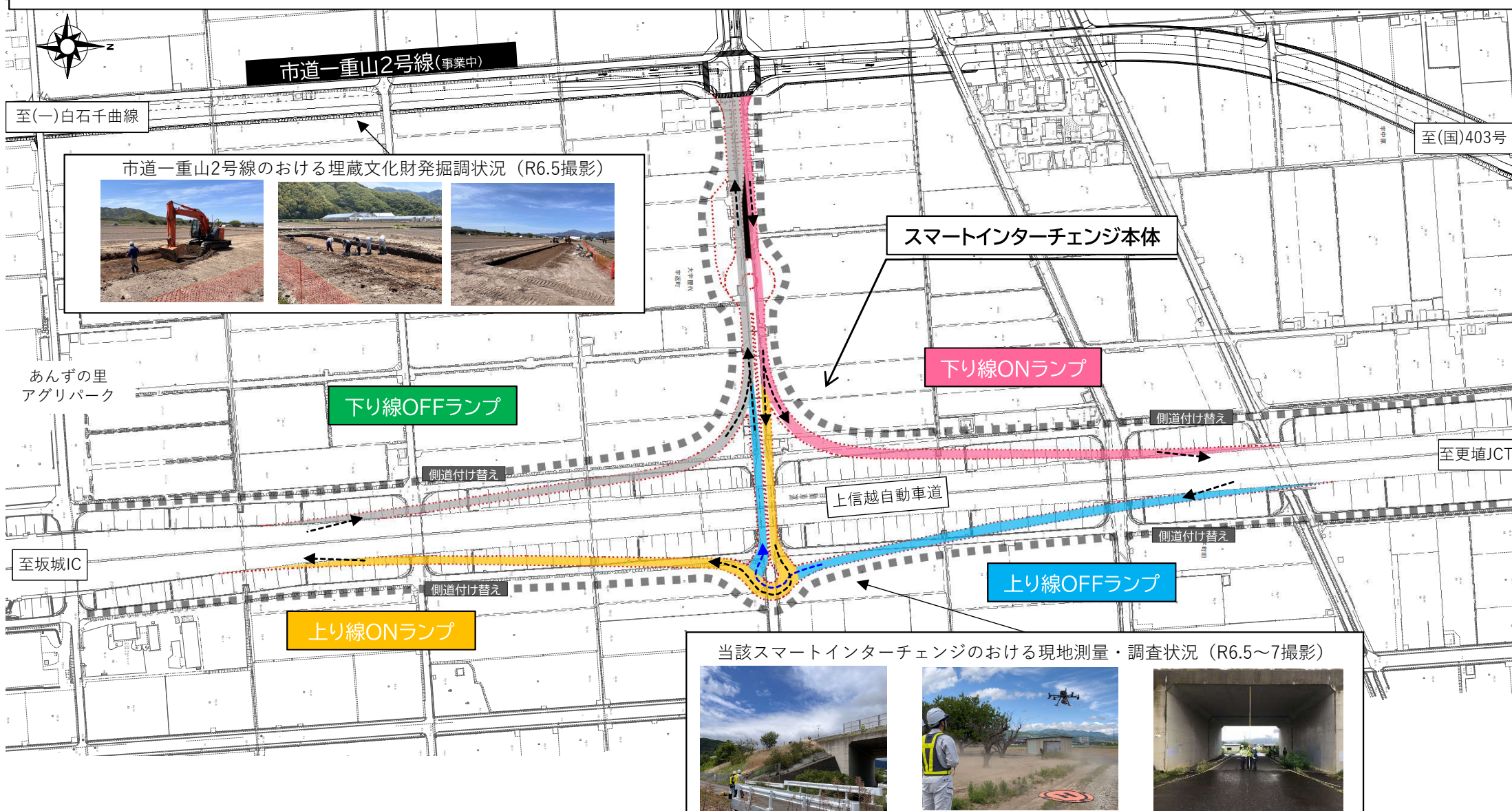
↑【参考】現況の高速バス停
(乗車に際し階段の昇降が必要であり、バリアフリーではない点が課題)



↑【参考イメージ】R5.3より供用された加東バスターミナル(兵庫県加東市)

4. 現在の進捗状況

- ・現在、当該スマートインターチェンジの詳細な測量・調査及び設計作業を進めています。
- ・市道一重山2号線において、用地取得した箇所から埋蔵文化財調査を開始しています。



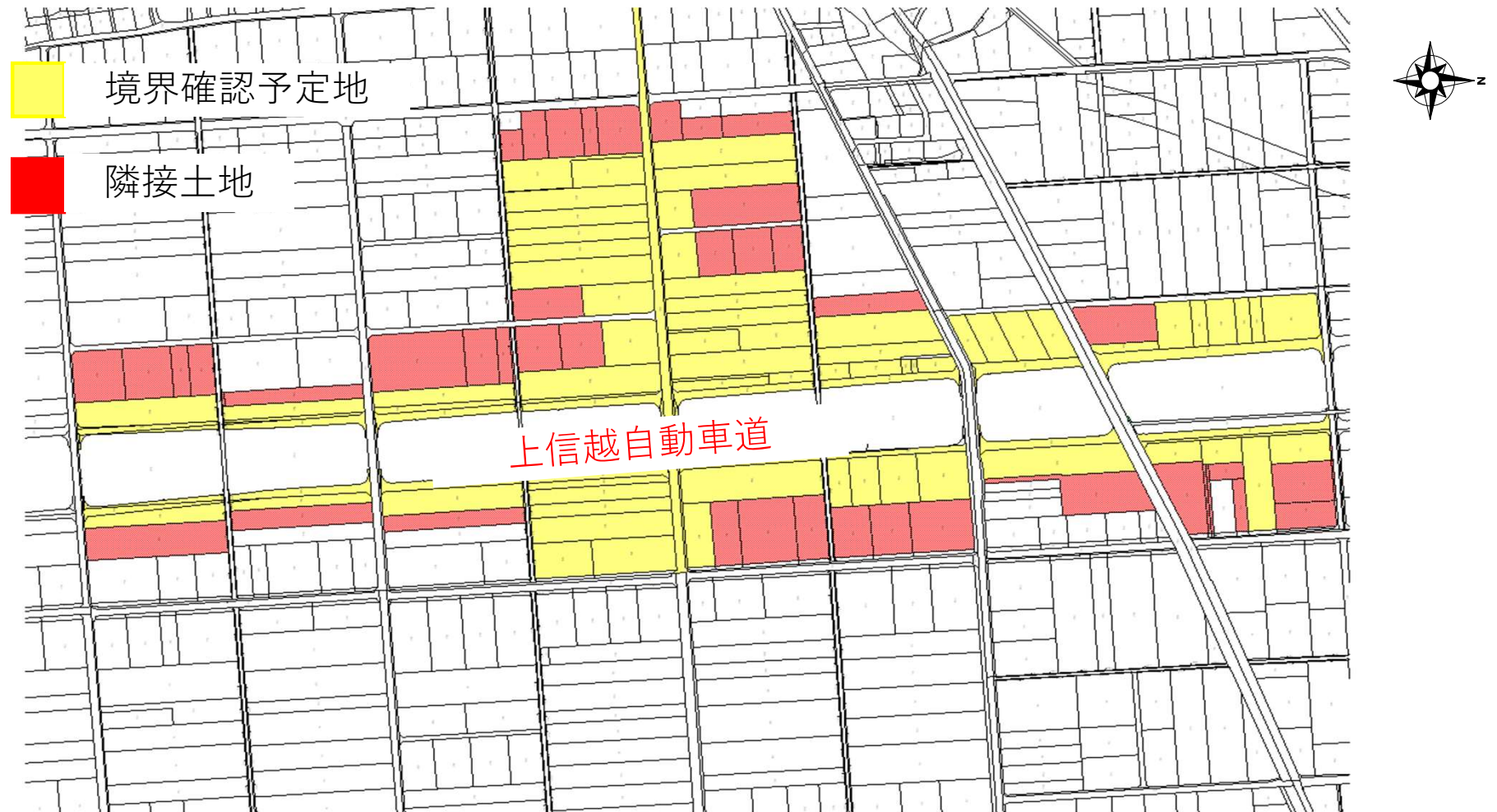
5. 今後の予定

実施年度 実施主体	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
NEXCO東日本	測量・設計 (※)				工事
千曲市	事業説明会(本日) ↓ 用地測量 (土地境界の確認)	設計説明会 ↓ 用地測量 (買収範囲の確認) ↓ 物件補償調査 ↓ 土地評価 ↓ 用地買収			
			埋蔵文化財 発掘調査		

(※) 設計には構造物の位置を決める設計の他、舗装や標識の設計を含みます

用地測量(土地境界の確認)

・早期の開通を目指すため、土地をお譲りいただく可能性が高い土地の境界を測量し、隣接土地所有者を含め境界立会(境界確認)を実施します。



上記は現時点での予定範囲であり、NEXCO東日本発注の測量・設計の進捗次第で変更になる可能性があります。境界立会をお願いする方には日時等を別途書面にてご案内します。

(仮称) 屋代スマートインターチェンジに関する
問い合わせ先

千曲市 建設部 道路河川課
TEL : 026-273-1111 (内線3205・3206)